

# ログハウス周辺の花木類について (平成23年度)

泉川 康博

ログハウス周辺は、バラ類を中心とした植栽になっているが、バラ類のみが植栽されているバラ園とは異なり、様々な花木類や草花類が混植され、それらの組み合わせや建物・構造物との調和、季節感を楽しむことの出来る洋風庭園となっている。

本稿では、平成23年12月現在ログハウス周辺に植栽されている花木類（高木・コニファー類・バラ類、生垣を除く）についてリストを作成するとともに、その位置を図示した（表、図参照）。

植栽された花木類の生育は概ね順調であるが、いくつかの注意点や問題点を以下に列挙するとともに、今後改善を試みたい。

スモークツリー（10）（以下、カッコ内の数字は位置番号を示す）は、非常に旺盛な生育を示しており、放任では他の植物の生育を妨げる懼れがあるため、平成22年の8月下旬に樹高を半分に切り詰め、人の背丈ほどにする大幅な剪定を行った。翌23年春は問題なく開花したため、23年の8月下旬にも同様の剪定を行った。

ヒトツバタゴ（12）は、5月の開花期には入園者の問い合わせが多い樹木の一つである。園内には東屋の近くに高木があるが、花は人の背丈

より高い位置に咲く。一方ログハウスの個体は若木であり、平成22年に初開花し、目線の高さで花を見ることが出来た。22年の8月下旬に剪定を行ったところ、平成23年にも目線の高さで開花した。今後も同様の管理で、目線の高さで花を見ることが出来る状態を維持していきたい。

ハナミズキ ‘オーロラ’（42）は樹高が5mほどに達しており、直下に植栽されていたバラ2品種が枯死してしまったほか、草花類も著しく生育が劣った。株元は十分に明るいが、ハナミズキによる水分吸奪が激しいのが原因と思われる。樹高がこれ以上高くなると管理上問題となるため、樹高を剪定により2/3ほどに抑え、左隣のクチナシ（41）は移植し、株元は乾燥・蒸れ・日照不足に強い宿根草類に改植する必要がある。

ブドウ（47、49）は、シートの伸長は旺盛なもの、日照不足のためか実を結ばない。日照不足の原因是東南側にあるシラカシによるものであり、ブドウに近いほうに伸びているシラカシの枝を伐採するか、あるいはシラカシの枝から遠ざかるようにブドウの枝を誘引することにより実を結ぶ可能性がある。また、ブドウの棚下にはブッドレア（48）があり、明らかにブドウと干渉しているので、現在の状態を何らかの方法で解消することが望ましい。具体的な方法については今後検討したい。

至 ベゴニア温室

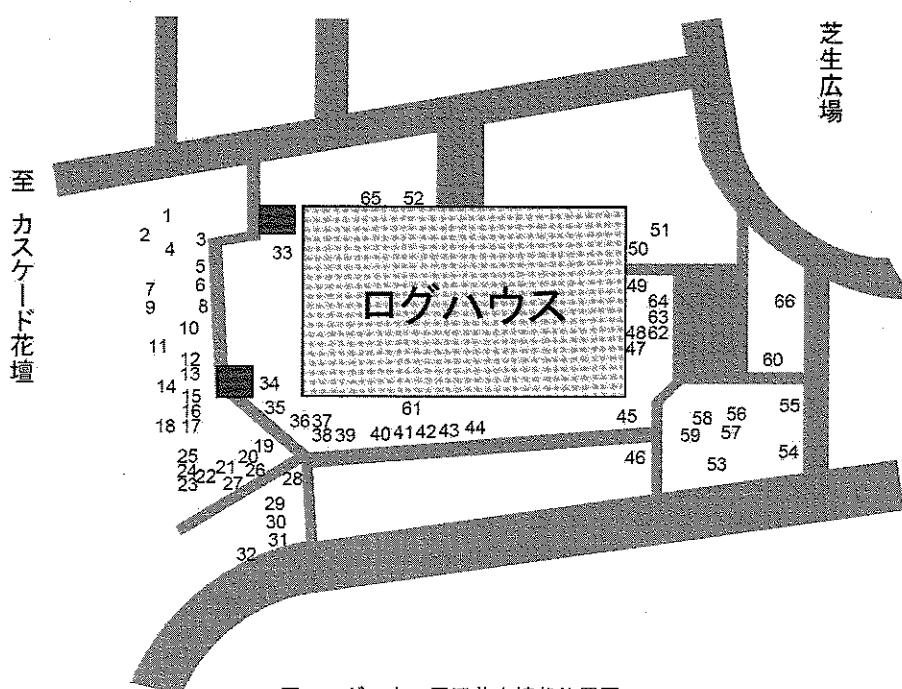


図 ログハウス周辺花木植栽位置図

表 ログハウス周辺の花木類（平成23年12月現在）

位置番号	学名	和名
1	<i>Michelia figo</i> (Lour.) K. Spreng.	カラタネオガタマ
2	<i>Buddleja davidii</i> Franch. ‘Nanho Blue’	ブッドラア ‘ナンホー・ブルー’
3	<i>Prunus x cistena</i> N. E. Hansen	ベニスモモ・システナ
4	<i>Vitex agnus-castus</i> L.	セイヨウニンジンボク
5	<i>Buddleja davidii</i> Franch. ‘Yellow Magic’	ブッドラア ‘イエロー・マジック’
6	<i>Malus</i> cv.	クラブアップル
7	<i>Malus</i> ‘Otome’	リンゴ ‘乙女’
8	<i>Betula utilis</i> D. Don var. <i>jacquemontii</i> Spach	シラカバ ‘ジャックモンティ’
9	<i>Forsythia suspensa</i> (Thunb. ex Murray) Vahl.	レンギョウ
10	<i>Cotinus coggygria</i> Scop. ‘Grace’	スモークツリー ‘グレース’
11	<i>Kalmia latifolia</i> L. ‘Fuscata’	カルミア ‘フスカタ’
12	<i>Chionanthus retusus</i> Lindl. et Paxt.	ヒツバタゴ (ナンジャモンジャ)
13	<i>Malus</i> cv.	クラブアップル
14	<i>Weigela florida</i> A. DC.	オオベニウツギ
15	<i>Malus prunifolia</i> Borkh.	ヒメリング
16	<i>Premna japonica</i> Turcz.	ハマクサギ
17	<i>Viburnum plicatum</i> Thunb. ex Murray var. <i>plicatum</i> f. <i>plicatum</i>	オオデマリ
18	<i>Koelreuteria integrifoliola</i> Merr.	オオモクゲンジ
19	<i>Leucothoe fontanesiana</i> Sleumer. ‘Tricolor’	アメリカイワナンテン ‘トリカラー’
20	<i>Cornus</i> sp.	ハナミズキの一種?
21	<i>Michelia maudiae</i> Dum.	ミケリア・モーディエ
22	<i>Spiraea salicifolia</i> L.	ホザキシモツケ
23	unidentified	不明
24	<i>Acer ginnala</i> Maxim.	カラコギカエデ
25	unidentified	不明
26	<i>Spiraea cantoniensis</i> Lour.	コデマリ
27	<i>Spiraea nipponica</i> Maxim. var. <i>tosaensis</i> (Yatabe) Makino	トサシモツケ
28	<i>Euonymus japonicus</i> Thunb. ex Murray ‘Albo-Marginata’	ギンマサキ
29	<i>Philadelphus coronarius</i> L. ‘Belle Etoile’	バイカウツギ ‘ベル・エトワール’
30	<i>Cornus</i> sp.	ハナミズキの一種?
31	<i>Berberis</i> sp.	メギの一種
32	<i>Hydrangea quercifolia</i> Bartr.	カシワバアジサイ
33	<i>Daphniphyllum teijsmannii</i> Zoll. ‘Variegata’	フイリニズリハ
34	<i>Mucuna sempervirens</i> Hemsl.	トビカズラ
35	<i>Lonicera hypoglauca</i> Miq.	キダチニンドウ
36	<i>Castanopsis sieboldii</i> Hatusima ex Yamazaki et Mashiba ‘Variegata’	フイリスダジイ
37	<i>Akebia quinata</i> Decne.	アケビ
38	<i>Philadelphus</i> cv.	バイカウツギの一種
39	<i>Lonicera affinis</i> Hk. et Arn.	ハマニンドウ
40	<i>Hydrangea paniculata</i> Sieb. et Zucc. ‘Unique’	ノリウツギ ‘ユニーク’
41	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis var. <i>jasminoides</i> Ellis	クチナシ
42	<i>Cornus florida</i> L. ‘Aurora’	ハナミズキ ‘オーロラ’
43	<i>Laburnum anagyroides</i> Medic.	キングサリ
44	<i>Viburnum farreri</i> Stearn ‘Aurora’	ニオイガマズミ ‘オーロラ’
45	<i>Viburnum japonicum</i> Spreng.	ハクサンボク
46	<i>Physocarpus opulifolius</i> Maxim. ‘Diabolo’	アメリカテマリシモツケ ‘ディアボロ’
47	<i>Vitis</i> cv.	ブドウの一種
48	<i>Buddleja davidii</i> Franch. ‘White Profusion’	ブッドラア ‘ホワイト・プロフュージョン’
49	<i>Vitis</i> ‘Summer Black’	ブドウ ‘サマー・ブラック’
50	<i>Buddleja davidii</i> Franch. ‘White Profusion’	ブッドラア ‘ホワイト・プロフュージョン’
51	<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke	シマトネリコ (タイワンシオジ)
52	<i>Clethra alnifolia</i> L. ‘Ruby Spice’	アメリカカリョウブ ‘ルビー・スペイス’
53	<i>Stewartia pseudo-camellia</i> Maxim.	ナツツバキ
54	<i>Cotoneaster</i> sp.	コトネアスターの一種
55	<i>Prunus tomentosa</i> Thunb. ex Murray	ユスラウメ (白実)
56	<i>Fothergilla major</i> Lodd.	シロバナマンサク
57	<i>Spiraea prunifolia</i> Sieb. et Zucc.	シジミバナ
58	<i>Cornus florida</i> L. ‘Giant’	ハナミズキ ‘ジャイアント’
59	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq.	ソリバナ
60	<i>Clematis montana</i> DC. ‘Rubens’	クレマチス・モンタナ ‘ルーベンス’
61	<i>Clematis armandii</i> Franch.	クレマチス・アーマンディー
62	<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb. ex Murray) Sieb. et Zucc.	コアジサイ
63	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb. ex Murray) Ser. ‘Aizen’	ヤマアジサイ ‘愛染’
64	<i>Hydrangea quercifolia</i> Bartr.	カシワバアジサイ (八重)
65	<i>Lonicera morrowii</i> (A. Gray) O. Kuntze	ヒヨウタンボク
66	<i>Stewartia monadelpha</i> Sieb. et Zucc.	ヒメシャラ